
イジワルな彼と私。

みはね

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

イジワルな彼と私。

【Nコード】

N0588W

【作者名】

みはね

【あらすじ】

親の再婚でしらない土地に引越してきたすず。

でも、親友もできて、みんなとなじむことができた。

初恋は中1。

大好きな友達もいて、あなたに恋をし、毎日が幸せだった。

けど、そんな日は、長くはつづかなかった…

私の気持ち。(前書き)

春川すず Harukawa Suzu

中¹。

秘かに敦史がすき。

羽坂 敦史 Hasaka atushi

すずと同じクラス。

実は、すずと両思い。

長谷川 ゆずり Hasegawa yuzuri

すずと同じクラス。

すずと気が合い仲がイイ。

私の気持ち。

春…

私は中学生になった。

私はこの学校に1人も知ってる人がいない。
親が再婚して引越してきたからだ。

けど、親友といってもいい友達も…
気になってしょうがない男の子も…

「すーうつちゃんっ!?!」

「ひあやあっ!」

うわあっびつくりしたあ!

「なんだよ〜もうびつくりしたじゃん(笑)」

うちに話しかけたのは、長谷川 ゆずり

通称ゆず

私の名前は 春川すず

通称…とはまだいえないが すう と呼ばれている。

「んで、ゆずなんでいつも以上に明るいの?(笑)」
私はゆずのテンションで話した。

「え〜いつちやおうかなっ！だってあと一週間で体験学習じゃん？」

あ、忘れてた…

「でもさあ〜班とかきめてないじゃん」

「そうそう、メインはこれから！班はもうきまっているのです？決め方は、名前順で〜すっ！とうゆうことで、春川と長谷川は一緒なのですか？」

「うっそっ！やった！」

「イエーイ？」

「あの〜そかのバカ達そろそろ授業始めていいですかね〜」
男の声でした。

今話したのは、担任の長沼先生だ。

今の話からして、どうやら授業をさえぎっていたようだ。

私とゆずは顔見合わせて、はずかしながら
謝って、席に座った。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0588w/>

イジワルな彼と私。

2011年10月9日12時30分発行